

「里中学校の史跡活用の取組」

1. 学校名	薩摩川内市市立里中学校
2. 学年・人数	2年生 13人
3. 日時・場所	(1) 学習会等の日時・場所 ・ 学習会：7月10日 ガイドの仕方をプロのガイドから指導 鶴城跡, 亀城跡 ・ ガイド計画：9月3時間 ・ リハーサル：9月3時間 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月26日（木） 里町全般
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称・時代 鶴城(つるじょう), 亀城(かめじょう): 鎌倉時代 (2) 特徴等 承久の乱後, 甑島の地頭となった小川氏が築城したと言われている。城の麓には武家屋敷が立ち並び, 城の中腹には日露戦争の戦没者の慰霊塔や, 緊急時に村全体へ知らせる鐘が設置されている。江戸時代には一国一城令にもとづき, 亀城が廃城となった。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	ふるさと・コミュニケーション科の時間に, 地域の方から鶴城・亀城の歴史や由来について教えてもらった。その後, 自分たちで調べ学習を行い, ガイドができるよう分かりやすい表現でのまとめ作業を行った。 アイランドガイドという島外から来た小学生に島をガイドするという取組の中で, 鶴城・亀城を紹介する部分を入れている。実際に城を見せ, 一緒に上ってガイドを行った。
6. 取組の様子(研究発表等)	    里中生が小学生にガイドをしている様子
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【生徒】 ・ 初めは自分が調べたことをしっかり伝えられるか不安もあったが, 少しずつ慣れてきた。小学生ともしっかりコミュニケーションを取れて, 里の良さを伝えられて良かったと思う。 ・ 地域の方から教えてもらった鶴城のことをガイドし, 小学生が興味をもって聞いてくれたことがうれしかった。 【教員】 生徒は自分の調べたことを丁寧に伝え, 手応えをつかんでいたようであった。ガイドを通して自分たちの住む町の歴史や文化に触れることができ, 有意義な活動だと思う。